

第5回詰四会(臨時)作品展

(課題:四国に因んだ作品)

平成20年 12月14日(日)

解答締切:平成21年 1月15日(木)

解答発表:平成21年 1月16日(金) 予定

本作品展は公式発表とし、平成20年度看寿賞対象を希望しています。(笑)

解答には短評を必ずお書き下さい。なお結果稿には全ての短評を掲載しますのでその点ご了承ください。解答はメールにてお願いします。 takuji@dokidoki.ne.jp

第1番 山下繁実

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								王	三
								桂	四
						香	角		五
							歩		六
									七
									八
									九

持駒 角銀桂

第2番 山下繁実

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
						角	銀		三
								桂	四
								馬	五
							歩		六
									七
									八
									九

持駒 金銀2

第3番 富永晴彦

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
							角		七
							王	銀	八
				馬					九

持駒 金銀歩

第4番 菅野哲郎

「竜馬がゆく」

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
銀								角	二
香	歩							王	三
王	と				桂	と		銀	四
歩	銀		馬	桂	歩		と		五
歩	王		王	龍					六
香					王	歩	歩		七
王	桂	歩	銀	歩	歩				八
香		王	と	銀	金	銀			九

持駒 なし

解説

第1番 山下繁実

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
								王	三
								桂	四
							香	角	五
								歩	六
									七
									八
									九

持駒 角銀桂

24 銀 14 玉 26 桂 25 玉 14 角
迄 5 手詰

作者

カレンダー落選作です。詰上り「四国」ということで。

毎回臨時作品展に投稿頂いている山下さんの作品です。詰上りが四国だそうで・・・四国は横長なんだけどな。

手順は持駒の連打で詰んでしまうとはいえ、詰上りが見えないとちょっとは悩むかも？

(実力者は一目でしょうが)

逆算して 25 香の限定打を入れてなんて考えて・・・いや私には無理です。

利波偉

作意は「田舎の島 = 四国」ということなのだろうか？四国蔑視の問題作か？(笑)

何～っ？四国の人が聞いたら大問題になるかも(笑)

冬眠蛙

詰上がりに価値も形も凝縮。

上手い表現ですね。

酒井博久

詰上り「四角 = 四国」(= はニアリイ・イコール)、これは分かりました。

そうか～四角の四と四国の四が掛かっているのか～

3時のおやつ

数十年前の将棋を覚えた頃のへぼな寄せを思い出す素朴な作品。

追う手の王手はダメとしたもんだけど、意外と初心者が解けるかもしれませんね。3時のおやつさんは今回初解答です。今後ともよろしくお願いします。

隅の老人B

何と申しましょうか？そうだ、詰上がりを褒めよう。

作品の良い所を見つけて褒める。これで作者は創作意欲がまた沸いて来る。貶すだけの短評は私は書きたくない。

解答者数 5 名 全員正解！(拍手)

第2番 山下繁実

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
								王	二
						角	銀		三
								桂	四
								馬	五
							歩		六
									七
									八
									九

持駒 金銀2

13 銀 同玉 22 銀 14 玉 24 角成 同玉
25 金 迄 7 手

作者

カレンダー落選作(をちょっと手直し) 初形讃岐うどんの「う」。

手順より何が四国と関係あるのか？という方が難解な作品。

毎回恒例みたいになっていますが、今回もかなり難解でした。

正解は初形が「讃岐うどんの"う"」

さすがに正解者はなし。(カンニング1人は除いて) そんなのわかるかい！と言うツッコミはやめてくださいね。手順は最後角成でちゃんと締めています。

利波偉

作意は「田舎のト(都・みやこ) = 四国」
ということなのだろうか？

これはやや無理が・・・

冬眠蛙

典型的ですね。とか余裕かましつゝ実は第一感が初手2 1 銀で次が1 1 金だったりするのだけど。

持駒の銀1枚が歩だったら・・・簡単ですね。銀だから悩ましい。

酒井博久

最後は何で取るんですかね。てっきり詰上りに意味があると思っていました。まさか初形とは・・・(作者に聞いてしまいました)。

カンニングはいけませんな(笑)

3時のおやつ

教科書通りの手筋もの。

安心して解ける親切設計です。

隅の老人B

7手でも十手詰とは、これ如何に？たぶん、鳥越九郎さんでしたね。

鳥越作は初形が十手でしたね。確かに詰上りは十手に見えますね。
最近はこういうユーモアのある作品がなくなりましたね。
一度「笑わせる詰将棋作品展」なんてやってみようかしら・・・。
3作以上集まったら開催しますので投稿は私まで・・・ふいふい

第3番 富永晴彦

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							角		六
							王	龍	七
					馬				八
									九

持駒 金銀歩

48馬 27玉 26金 17玉 28銀 同龍
同角 同玉 27飛 18玉 19歩 同玉
37馬 18玉 28馬 迄 15手

作者

詰上り「し」の炙り出しです。加えて初形 & 詰上りとも盤上使用駒4枚と、洒落てみました。

う～むさすがに「し」と読んでくれる人はいなかった。どう見ても「L」ですね。しこくの「し」より初形・詰上りとも4枚の方が条件にあってるっばいか。手順についてはまあ不問と言うことで(笑)
やや解きにくさはあったかも(ばらすのを普通は読まないから)しれません。
個人的には加登屋さんの評を聞いてみたい気がします(笑)

利並偉

作意は「田舎の島(Land of L) = 四国」
ということなのだろうか？

冬眠蛙

逃げ方が少しややこしいが、その中で一番味気ない手順が作意だったので少しガッカリ。
多分作者もだな(笑)

酒井博久

詰上り「L」になるけど・・・。初形・終形とも盤面「四」枚ということですかね？

3時のおやつ

ベタ攻めで詰んじゃうのはちょっと芸がない。

隅の老人B

初形が綺麗、ばらすのも意外。難しい、何が？

解答者も評に困ってますね。

第4番 菅野哲郎

「竜馬がゆく」

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香									ス	一
銀									角	二
香	歩							歩	香	三
ス	と				桂	と			歩	四
歩	王		馬	桂	歩		と			五
香				ス	龍					六
皇	桂	歩	歩	歩						七
香		香	と	銀	金	銀				八
										九

持駒 なし

「64馬 87王 54馬 86王 53馬 87王 43王 86王 42馬 87王 32馬 86王 31馬 87王」

(A手順:14手)

47龍 67と

「32馬 86王 42馬 87王 43馬 86王 53馬 87王 54馬 86王 64馬 87王 65馬 86王」

(B手順:14手)

36龍 66と

(A手順) 37龍 67と (B手順) 36龍 66と (A

手順) 27龍 67と (B手順) 16龍 66と

(A手順) 17龍 67と (B手順) 16龍 66と (A

手順) 27龍 67と (B手順) 36龍 66と

(A手順) 47龍 67と (B手順) 56龍 66と

85と 同王 76銀 84王 75馬 73王 63桂成

同王 64歩 72王 52龍 71王 82歩成

同金 同龍 同王 83歩 72王 81銀生 61王 52

桂成 同王 74馬 42王 43金 31王

32歩 22王 23と 同金 同角成 同王 24歩 12

王 23金 21王 31歩成 同王 32金 迄 231

手詰

初形をしばらく見ていると 65の馬による馬鋸と予想は付く。また 56龍による龍鋸にも気付く人は多いのではないかと。

題名の「竜馬が行く」がまさにピッタリの「馬鋸+龍鋸」作品です。

手順を見ていただくと分かると思いますが、最初に馬鋸で馬を 31まで運びます。はてこれはどういうことでしょうか。

では 3手目にいきなり 47龍としてみましよう。

3手目 47龍には、88玉 79金 同玉 68銀 同玉 59金打 79玉で不詰

そうです。馬の位置が 64(53や42も同様)では、7段目の龍の王手に

対して 88玉とされると詰まないのです。そこで目をつけるのが 13の金。

31馬の形だと、88玉の変化で 68銀 同玉以下 13馬と金を取って詰ませることが出来るのです。(おっ~)

今度は 86玉型で龍を 6段目で王手をかけることとなりますが、32馬 86玉型で 36龍としてみたらどうでしょうか？

それはダメ。75に逃げられて不詰となります。

つまり龍鋸の際に、

7段目で王手するときは馬の位置が 31

6段目で王手するときは馬の位置が 65

でないといけないのです。(分かりやすいし 巧みな作りです)

龍鋸の目的は、収束に必要な 3歩を得ることで、47と、37歩、17歩を取りに行きます。その際、あいだに全部馬鋸が必要なのです。

3歩を得たら再び龍を 56まで戻して 193手目より収束に入ります。

取った歩を使い 40手近い手順できれいに収束します。

なお解答者から指摘がありましたが、

203手目から 82歩成 同金 52龍の所、先に 52龍 71玉 82歩成の手順前後も成立します。ちょっと残念ですが小キズでいいでしょう。

全体的には壮大な構想でありかつ機構はシンプル。収束も煩わしさがなく。菅野趣向作の中でも上位に入る作品ではないかと思えます。

しかしこれほど題名と内容がマッチしている作品は早々無いのではないのでしょうか。手数が長すぎて詰パラに掲載できませんでしたがたくさんの方々にご覧いただきたい作品です。

それでは解答者の声を・・・

利波偉

菅野氏の作品としては珍しく難しかった。

12角は馬を31まで持って行って、21角成とする為にあるのかと思っていた。

31に馬を持って行って13金を質駒にすることによって、龍鋸が一步進む趣向は面白いです。収束も力が入っていて、12角が捌ける等、良く出来ています。でもパラに出していたら、お手上げの人が多くて、解答者は減っていたと思います。何はともあれ、好作です。

いつもは辛口の利波さんが褒めるのですから好作間違いなし

冬眠蛙

久々に超長編解きました。龍馬の舞は良いのですが、収束は自信ないです。83歩には71玉、81銀成以下72玉、81銀生以下でどっちが正しいのか。あと52龍のところ先に82歩成でもOK?

解答には241手と書いてありましたが、手順を確認すると正解でした。蛙さんの数え間違いでした。ご指摘の71玉は81銀成以下作意と同じです。

酒井博久

最初は馬のほうも遠ざかっていくものと思いついていました。21角成、同と、同馬で1歩を補充するものと・・・でも、角を渡すと合駒に使われてしまいますものね。収束はうまく出来ていると思います。正解の自信はあまりないけれど。(*72玉、81銀生は、*71玉、81銀成も可?)

残念ながら馬鋸を省略しての87手解でした。あと一步でした。

3時のおやつ

前半部の1三馬を含みにした馬鋸+龍鋸の32手一組の循環手順による歩の確保と後半部の8五と以下の仕上げのコントラストが素晴らしい。数日悩まされた。

初解答でこの作品を解いてこられるあたりかなりの実力者とお見受けします。次回もよろしくお祈りします

隅の老人B

「竜馬がゆく」、ピッタリの命名ですね。趣向に気付けば簡単?、収束も長かった。長手順、解答書きが一仕事、暇な老人の出番ですね。おっと、忘れる処、楽しく解けた、これは好作。

Bさんにはきっと喜んでもらえると思います。

正解者：4名

【総評】

利波偉

ええと、私自身は四国を田舎だとは決して思っておりません、1~3の作意推理をただけです。推理があっていることを祈ってます。

附記：平均点は九州Gよりうえですが、解答者数は九州Gの方が上だったような気がするのですが、...(私の作品は九州Gにも同程度の難易度の作品が出ているので、相殺されると思います。野口氏のが難解だったからでしょうか?単純に作品数が少なかったからという可能性もありますね。)

対抗戦で決着をつけましょうか(笑)しかし四国は人材不足(泣)

冬眠蛙

第4番は良いとして、あとの3つが四国にちなんでいる内容がよくわかりませんでした。まあ固いことは言いつこなしとしますか。

分からなくて普通でしょうねえ(笑)

酒井博久

解答が少ないとのことなので、送ります。

涙が出るほどうれしいです。

隅の老人B

連日、寒い、冷たい日が続きます。解図日記を毎日拝見、お元気そうですね。ぼんやり暮らしていると、今日が何日かも分からない。気がつけば締め切り日、慌てての解答です。最近、年のせいか、何事も億劫、面倒になってきました。

Bさんは私以上にお元気だと思いますよ。これから寒くなりますのでお体には気をつけられますよう・・・。